

## >>>> 鹿児島県発明くふう展 <<<<

12月13日～14日に、鹿児島県民交流センターで鹿児島県発明くふう展（(一社)鹿児島県発明協会 主催）が開催されました。218点の応募作品の中から、61点が一般展示され、特賞及び奨励賞の19点について表彰が行われました。

鹿児島県知事賞には次の3点が選ばれました。

### 【一般・発明考案の部】

「車両消毒装置」 金川 次美 氏  
（有限会社鹿屋チーゼル機器）

### 【児童・発明考案の部】

「ワン LOVE マシーン」 新村 江李奈さん  
（鹿児島大学教育学部 附属中学校）

### 【児童・会画の部】

「ひかるかさ」 北崎 東紗さん  
（鹿児島市立本名小学校）



展示会風景

## >>>> 九州・沖縄産業技術オープンデーで最優秀賞受賞 <<<<

11月27日に、鳥栖市のサンメッセ鳥栖にて九州・沖縄産業技術オープンデーの合同成果発表会が開催されました。

(有)アーキ・テックの入来院洋一代表取締役と当センター企画支援担当の中村研究主幹が「炭酸ガスレーザー加工技術を活用した『パズルカヌー』の開発」について発表を行い、「最優秀賞」を受賞しました。

さらに、食品・化学部の安藤浩毅研究専門員が、パネル発表を行い、「ベストポスター賞優秀賞」を受賞しました。



入来院洋一代表取締役（左）、中村寿一研究主幹（右）

## >>>> 電気用品安全技術セミナーを開催 <<<<

昨年度から活動している鹿児島ハイテック研究会の電気用品安全技術研究会では、今年度3回のセミナーを開催しました。

1回目は、7月4日にIMV株式会社から講師をお招きし、「振動試験セミナー」を開催し、13機関から36名の出席がありました。

2回目は、2月7日にコニカミノルタ株式会社オプティックスカンパニーから講師をお招きし

「光と色の計測セミナー」を開催し、13機関から21名の出席がありました。

3回目は、3月12日には、株式会社東陽テクニカから講師をお招きし、「EMC（電磁環境両立性）技術セミナー」を開催し、14機関から26名の出席がありました。

今後も、関連技術のセミナーを開催していく予定です。

>>>> 工場排水管理技術講習会を開催 <<<<

2月14日に当センターで、「工場排水管理技術講習会」を開催しました。

県内の食品工場の排水処理担当者を対象に毎年行っている講習会で、今年度は184名（105事業所）の参加がありました。講演内容は、以下のとおりでした。

- ①「水質汚濁防止法の排水基準及び特定施設等について」 県環境保全課 桑原 庸輔 氏
- ②「排水処理における水質管理および水質測定器の基礎知識」 セントラル科学(株) 仲山 正樹 氏



講習会の様子

>>>> 「かごしまデザインフェア2014」に出展 <<<<

2月21日～23日にかごしま県民交流センターで、「かごしまデザインフェア2014」が開催され、7,671人の来場者がありました。

当センターは、大島紬の伝統的小柄緋文様集の「小柄伝統柄」と「小柄無名柄」2冊の発刊と、小柄文様をよりリアルに表現する着姿シミュレーション技術の研究結果を展示発表しました。大島紬関連の業者や、大島紬に関心のある一般の多くの方々に、研究成果のPRを行いました。

参加ブースは73となり、期間中初日には「デ

ザイン・意匠・商標分野における知財活用セミナー」等の講演も行われました。



展示会場（上）

センターブース（右）



>>>> 絹織物特別講演会を開催 <<<<

3月11日に当センター奄美分庁舎で、齊米絹織物株式会社（福島県）の齋藤栄太氏を招いて「絹織物特別講演会」を開催しました。

東日本大震災を乗り越え、毛髪の6分の1の太さの絹糸を使って織られた世界一薄い先染絹織物（フェアリー・フェザー、妖精の羽）の開発経緯や繊維業ではじめて「ものづくり日本大賞・内閣総理大臣賞」を受賞するまでについて、講話されました。

齋藤氏は柔軟な発想でものづくりに取り組むこ

との必要性や既存商品に新しい価値を加えて魅力を高めて欲しいと紬関係者に話されていました。



講演会の様子



## &gt;&gt;&gt;&gt; 県有特許の活用促進について &lt;&lt;&lt;&lt;&lt;

県では「鹿児島県知的財産戦略」を策定し、県有特許の活用を図ることとしており、「県が保有する特許の実施許諾や開放特許等についても積極的に情報提供等に努め活用を促進」しています。そこで、以下の特許について、広く活用及び普及を図りたいと考えておりますので、関心のある方は、企画支援部までお問い合わせください。

## 【電磁界評価用複合プローブ装置】

(特許第4312094号)

高密度実装化された電子機器の電子回路基板において、外来電磁波の影響を受けやすい箇所を高分解能で効率的に特定するための、電磁波を印加する領域を正確且つ迅速に切替えることができる電磁界評価用複合プローブを提供します。

具体的には、棒状の大きさが異なる各ループコイルを同一支持体上に配設してループアンテナを形成し、当該ループアンテナのループ開口面を電子回路基板に対向させて外来電磁波の影響を受け易い特定電磁波感受箇所を検出して評価します。任意棒状のループコイルからより小さな棒状のループコイルへ切替えて検出する際に、より小さな棒状のループコイルの位置決めを、正確且つ迅速に行うことが可能となります。これにより、特定電磁波感受箇所の絞り込みを効率的に行ってEMC評価を確実且つ円滑に実行できます。

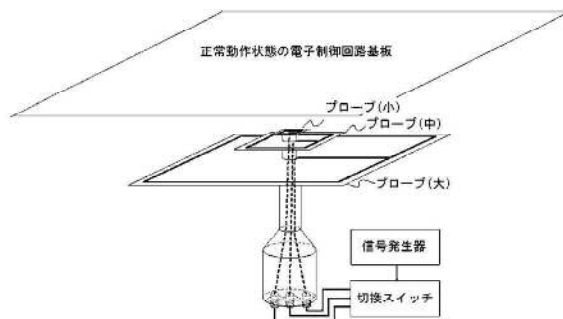


図1 電磁界複合プローブ装置のイメージ

## 【電波吸収体】

(特許第4336811号)

不燃性に優れ軽量で長期耐久性に優れた電波吸収体用組成物及びこの組成物を用いた電波吸収体の製造方法を提供します。

材料には、無機発泡軽石や火山噴出物、セメント、電波吸収材等の無機材料のみを用います。具体的には、平均粒径0.5~6.2mmでゆるみ見掛比重0.24~0.49の無機発泡軽石とセメント及び水を主成分とします。必要に応じて電波吸収材、高性能減水剤及び平均粒径0.1~1 μmの非晶質シリカを含ませることができる電波吸収体用組成物の製造方法を提供するものです。

また、平均粒径0.3~10mmでゆるみ見掛比重0.79~1.7の火山噴出物と、セメント及び水を主成分として、必要に応じて電波吸収材、高性能減水剤、平均粒径0.1~1 μmの非晶質シリカを含ませることができる電波吸収体用組成物と、それらを用いた電波吸収体の製造方法や電波吸収体の施工方法を提供するものです。

吸収体の厚みや含有成分を調整することで、高速道路自動料金収受システム(ETC)や高度道路交通システム(ITS)、無線LANを用いるオフィス環境の内壁などで、不要な電磁波の反射を防止する用途への応用が期待されます。



図2 電波吸収体の試作